

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社ホアロハ・ディスカバリーラボ 放課後等デイサービス ホアロハ・ディスカバリーラボ イースト		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりの特性に合わせた個別療育的対応や支援の提供を行う事が出来ている。	・日常的に職員間で子どもの情報共有を図り、目標や目的を共有し、共通認識のもと、支援計画に沿った支援を行う様に心がけている。・評価ツールや記録を整備し、効率良く支援が提供できる様体制作りを行う。	・職員ミーティングや研修機会を積極的に作り、スキルアップを図って行く。共通の評価ツールを使い、客観的に支援内容の検討を行い、効率よくより良い支援が提供出来る様体制作りを行う。
2	・送迎時、毎回情報共有をする事が出来、意思疎通を図る事が出来ている。	・送迎時、出来る限り担当の先生から当日の様子等の聞き取りを行っている。・自宅への送迎時、当日の支援の報告等を丁寧に伝えとともに、ご家庭での生活の様子を聞き取る様に心がけている。	・家族支援の重要性や心がける事等をミーティング等で共有し確認する。・職員全体で本人やご家族の状況を支援日誌で共有する。
3	・子供たちが安心感を持って楽しく通所出来ている。	・子供たちが飽きる事の無く楽しく活動出来る様な環境設定と支援プログラムの検討をしている。	・支援の質を高め、より子どもに安心して楽しく通所して頂ける様、様々な職員研修等の機会を確保して行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1対1の療育の様な形になっている為、運営基準は満たしているが職員数が不足している状態になる事が時々見受けられる。	・運営上、雇用出来る人数に限りがある。	・運営ソフトの導入により、記録等の業務の効率化が図れているが、今後も工夫改善を行って行く。・専門性を持ったパート職員の活用を検討して行く。
2	・各種マニュアルや非常災害等の発生時にに備えた避難訓練の実施内容等が周知出来ていない。・開業からまだ日が浅い為、避難訓練等が実施されていない。	・ホームページでの周知が上手く機能していない。	・年度早々の実施に向けて実施計画の策定を行う・早急にホームページでの情報提供の有り方を見直し、必要な情報が遅滞なくご家族にも確実に届くように体制を整えるとともに、連絡ノートや口頭で事前周知や報告を行う様に改善する。
3	・eスポーツを支援の核と位置付けていて支援の成果は出てきているが、その他の支援内容が確立出来ていない。	・デジタル以外の支援の検討	・eスポーツから派生する様々な学びの追及、検討。・7台設置されているPCのゲーム以外の活用方法の早急な研究・不登校児童の為の学習支援ソフトの導入検討。・5領域をきちんと支援出来るカリキュラムの研究。